

名古屋市子どもの権利相談室「なごもっか」が提供できる「子どもの権利学習」について

1. 子ども向け出前授業（学校・学童保育・地域活動・イベントなど）

- ・学年や発達段階に応じてプログラムを準備しています。
- ・学校で行う場合は、原則各教室で実施します。クラス数が多い場合はご相談ください。
- ・グループワークをすることも可能です。

子どもは、子どもの権利を守られることを通して、権利とは何かを学びます。そのため、授業は子どもが子どもの権利を知るためのステップの中のひとつです。授業後におとなが子どもの権利を保障することを意識していただくと効果的です。

【授業例】

中学生 高校生向け	①授業・講演	子どもの権利ってなんだろう
	②グループワーク	なごや子どもの権利条例の条文を考えよう
	③グループワーク	校則は誰のため？
小学生向け	①授業	子どもの権利ってなんだろう
	②ワークショップ	守ってほしい権利
	③グループワーク	どの権利にあたるかな？

【これまでの子どもからの感想】

- ・自分は自分でいいんだなと思った。
- ・子どもにちゃんと権利があることを初めて知った。
- ・子どもの権利は自分がふと疑問に思った時やよくないなと少し感じた時にも使えることを知り驚き、自分も子どもの権利を持っているので、積極的に使っていこうと思った。
- ・普段苦手な勉強ができなくて、辛かったりするけど、「休んでもいいんだよ」って言ってくれて、安心した。
- ・自分には権利があるから何かを訴える時に心の中で抱え込まないでしっかり主張していきたいと思った。でも相手にも権利はあるので自分の意見だけではなく相手の意見もしっかり聞いていきたい。
- ・たくさんの方が楽しく過ごすための、「なごや子どもの権利条例」というものがあると知ることができた。どのようなことが、4つの権利条例に当てはまるのか、考えることができてよかった。
- ・何か困ったことがあったら、なごもっかに相談してみたいと思った。
- ・なごもっかの「秘密は絶対に守ります」というルールはとても心強いなと思った。

2. 教員・保育士・支援員等子どもに関わる職種向け研修

- ・60分以上が推奨です。60分未満の場合はご相談ください。
- ・講義とグループワークなどでの連続講座がオススメです。

【研修例】

①講義	子どもの権利の考え方 子どもの権利条約についてなごや子どもの権利条例について 子どもの権利を保障する関わり方 など
②講義短縮版+グループワーク	※60~90分が推奨です。 60分未満の場合はご相談ください。
③講義+質問	意見交換
④講義	困っているテーマについて、子どもの権利の観点からの考え方を学ぶ

【これまでの感想】

- ・子どもの思いをしっかりと聴くことの大切さがわかった。
- ・子どもとともに考えることを明日から意識していこうと思った。
- ・職員の間関係が子どもたちの成長に繋がることはわかっているが、深く理解できていなかったと気付いた。様々な人とふれあうことの大切さを念頭におき、いろんな先生がいてもいいんだと思える職場環境を整えていきたい。
- ・子ども一人一人と上下関係をつくるのではなく、教員が子どもの目線に合わせる事が大切だと思った。
- ・働き方改革が進み、授業後に職員で話す機会が減っている。研修を通して対話ができることはありがたい。

3. 保護者向け研修

- ・学校で実施する場合、授業参観として子ども向けに子どもの権利学習を実施した後、保護者向けに研修をすることも可能です。

【研修例】

① 子どもの権利について	子どもの権利の考え方、子どもの権利条約、なごや子どもの権利条例、子どもの権利を保障する育児など
② テーマ別講演	いじめ・不登校など子どもにかかわるテーマをもとに、子どもの権利の観点からどのように対応すればよいかなど

【これまでの感想】

- ・あれこれ指示ばかりせず、子どもの意見をきいてみて相談する機会を持ちたいと思った。
- ・子どもの心の声に耳を傾けているのか反省させられた
- ・権利と義務は別という言葉が胸に突き刺さった。口を出さないようにしていたら、子ども達がいつもより機嫌良くいた気がする
- ・もっと早く知りたかった

4. 一般向け研修

- ・普段直接子どもにかかわらない方(地域の方など)に対しても、子どもの権利がまもられる社会において研修をさせていただいています。なお、子どもの権利を知ることを通じて、あらためて一人ひとりの違いに気づき尊重し合うことの大切さを考える場となるため、企業における職員向け研修としても活用いただけます。

【研修例】

①子どもの権利について	子どもの権利の考え方、子どもの権利条約、なごや子どもの権利条例、子どもの権利を保障するために大切なことなど
-------------	---

【これまでの感想】

- ・子どもの最善は子どもが知っている。子どもの意見表明をより受け止めようと感じました
- ・普段考えていない事について考える事ができた
- ・子どもの主体性を尊重することの重要性に気づけた。私が子どもだったときにはなかった考え方も多く学べたため、スタンダードな考え方になるとよいと思った。
- ・「おとなの権利保障」も考える機会となり、働く姿勢の変化やコミュニケーション増加につながった
- ・「一人ひとり」の違いをさまざまな立場や視点から見つめなおす機会を持つことで、その大切さをより実感できる機会となった。